

「未来のまち」を 市長と語ろう！

ふらっとホーム
2014 in 南区

札幌市では、市民の皆さまの声をお聞きするさまざまな機会を設けています。その一つが各区で区民と市長がまちづくりについて気軽に意見を交わす「ふらっとホーム」。今年度、南区では6人の対話者と上田市長が、「語り合おう！未来～札幌、南区のまちづくり展望～」と題して、3つのテーマについて意見交換を行いました。このページでは、当日の会場の様子や意見交換の内容の一部を紹介します。

【この特集のお問い合わせ先：総務企画課広聴係 ☎582-4714】

発言内容は抜粋および要約して紹介しています。さらに詳しい発言などは南区ホームページでご覧になれます。

札幌 南区 ふらっとホーム

検索

理想のまち・暮らしとは

私は、往復3時間くらいかけて通学しており、自宅のある駅に着いたときにすごくほっとします。愛着を持つことができ、人とのつながりを感じられるそんな「ほっとするまち」に住みたいなと私は思います。



たなもと
棚元さん

われわれは、今の50代、60代の方よりも運動不足で育っている世代だと思います。今後、自分が高齢になったとき、適切に雪に対処できるか不安です。除雪などについて、「定年後も不便なく住めるまち」が理想のまちだと考えております。



あおき
青木さん

南区は、少子高齢化が進行しており、非常に危機的状況ではないかと思っています。いかに「若者が集まる活気あふれるまち」にするかが南区の課題であると思っています。

たにむら
谷村さん

上田市長から

雪が降るということはこのまちの財産だと思います。雪への取り組みを通じて、ボランティアの心にあふれるまちをつくることができれば、他のさまざまな課題も解決していくことができるのではないかと考えています。



上田市長

南区の玄関口、真駒内駅前の未来

にぎわい

南区の自然を生かして、安心・安全、かつ子どもを自由に遊ばせられる魅力のある公園があったらいいと思います。これは既存にあるものを改善するだけで十分対応できると思います。



青木さん

地下鉄駅を最大限に活用する方法の一つとして、高層階の駅ビルをつくってはどうでしょうか。また、大型の保育所を地下鉄駅につくっていただけると、駅で子どもを預けて、お母さんが働きに行くことも可能になると思います。

谷村さん

上田市長から

女性が安心して働くことができる社会となるためには、保育所などを利便性の高い所につくり、子どもを預けやすいようにすることが必要です。まちづくりを行う上で大事な視点だと思います。



憩い

真駒内は南区の玄関口です。その意味で、真駒内駅周辺が、南区の歴史や文化を感じることができる、そういう空間になればいいのかなと思います。



すなが
須永さん

